

令和4年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動関係者研修会 (県南地区：島原市) 概要

1 日 時 令和4年6月28日(火) 13:30~16:30

2 会 場 島原文化会館 中ホール

3 参加者 計47名

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するために、子どもの育成に携わる地域と学校の関係者が一堂に会し、講義や実践発表、グループ協議を通して、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について理解し、実践につなげることをねらいとして実施しました。

4 内 容

- (1) 講 義 ①「コミュニティ・スクールについて」
長崎県教育庁義務教育課
②「地域学校協働活動と地域学校協働本部について」
長崎県教育庁生涯学習課
- (2) 実践発表 「西海市立大瀬戸小学校コミュニティ・スクールの実践」
西海市立大瀬戸小学校学校運営協議会
地域コーディネーター 佐々木 義信 氏
事務局 竹口 健一郎 氏

実践発表では、コミュニティ・スクール導入から5年間のあゆみや、学校運営協議会を運営していくにあたって大切にしていること、コロナ禍での取組、これまでの成果と課題等についてお話いただきました。そして、地域や子どもを思う熱い気持ちについても語っていただきました。

参加者からは、「地域と学校が連携・協働できることを具体的に考えるきっかけとなった。」「子ども・先生の見える化、コーディネーターの見せる化、地域にあった形が印象に残った。」などの感想が寄せられました。



(3) グループ協議

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を進めていくためには、まずは、学校運営協議会(学校支援会議)等で、地域と学校が子どもを育てる共通の目標(目指す子ども像)を共有することが大切です。そこで今回、地域関係者と学校関係者がグループ協議により、地域と学校が連携・協働できることについて考えていただきました。

参加者からは、「学校、地域の方と一緒に話ができ、課題意識が共有できてよかった。」「グループ協議を行ったことで、目指す子どもの姿や地域のあるべき姿が明確になりよかった。」などの感想が寄せられました。

